

ことだま

8
2024

[vol.257]



誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	2～6
議決結果一覧	7

6月定例会を開催

- ・ 18 件の議案を審議
- ・ 一般質問で議員 19 人が登壇

議員6人が附帯決議案を提出

本会議最終日に、議員6人から議案第40号 令和6年度寝屋川市一般会計補正予算（第4号）に対する附帯決議案が提出されました。（本案は「万博開催記念 子どもたちの体験促進事業」（以下に記載）に関する内容となっており、全文はQRコード参照。）

審議の結果、賛成少数で否決となりました。



※附帯決議……可決された予算案等の施行にあたっての意見等を表明する決議。

意見書

6月定例会で可決した意見書は、次のとおりです。

- ◆災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書
- ◆聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書
- ◆学校給食費の無償化を求める意見書



会期 6月19日～7月10日
(22日間)

市長提出議案 …… 14件
 報告…………… 5件
 条例…………… 2件
 予算…………… 5件
 その他…………… 1件
 人事…………… 1件

議員提出議案 …… 4件
 意見書…………… 3件
 附帯決議…………… 1件



議案審議

6月定例会



万博開催記念 子どもたちの体験促進事業

【補正額】 5,927万4,000円

市独自の支援策として市内在住の子どもたちに万博会場の入場費用相当額を交付し、万博を始め、子どもたちの貴重な体験を重ねることに活用できるよう支援する。

対象者 満4歳から17歳までの子ども
(令和7年4月1日時点)

支給額 ・1,200円
(満4歳～11歳)
 ・3,000円
(満12歳～17歳)



高齢者の 新型コロナウイルスワクチン

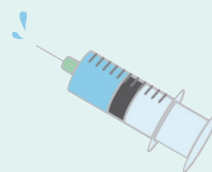
【補正額】 5億2,011万8,000円

実施期間 令和6年10月1日～令和7年1月31日

対象者

- 65歳以上の人
- 60歳以上65歳未満の人で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する、単独で身体障害者手帳1級を有する人

自己負担額 1,600円



主な議案の概要

令和6年6月定例会では、議決を要するすべての市長提出議案を可決・同意しました。

アドバンスねやがわ1号館 屋上整備詳細設計業務委託

【補正額】 1,786万1,000円

スポーツ・レクリエーション活動など、あらゆる世代に親しまれる、小規模・多機能型屋上芝生広場をアドバンスねやがわ1号館屋上に整備するための設計業務経費。



生涯学習（多機能）施設整備 詳細設計業務経費

【債務負担行為（令和6年度～7年度）限度額】
3,713万2,000円

多様な機能を備えた、多世代が利用・交流できる施設として、生涯学習（多機能）施設をアドバンスねやがわ1号館5階に整備するための設計業務経費。



大阪維新の会議員団

本質を捉えた施策の展開を！

奥 大輔
川口 肇人
瀬戸 健太
中川 健
福田 篤志
古田 尚央
森越 清楓

望が丘小・中学校の室内運動場開放について

問 室内運動場の開放を速やかに再開するよう要望するが、見解を伺う。
答 利用したい市民の声を把握し、他の学校を紹介するなどの対応を行っており、学校での運用方法の調整が固まったため、7月からの目的外利用開始に向け、準備を進めている。

2025大阪・関西万博学校単位での招待事業への本市の対応について

問 保護者からの不安や課題に対し安心安全に関する情報収集と周知に主体的に取り組むべき。見解を伺う。
答 今後、府教育委員会や万博協会などが情報発信並びに周知を行うものと考えており、本市教育委員会としても、府教育委員会などしっかりと連携しながら校長会などを通じて情報発信していく。

児童虐待について

問 令和5年度児童虐待件数の種別ごとの件数、現状は。
答 身体的虐待339件、心理的虐待581件、性的虐待12件、ネグレクト

ト939件で、身体的虐待が横ばい、心理的虐待、性的虐待が増加、ネグレクトが大幅な増加となっている。

問 「ねやつCO相談ステーション」(こども家庭センター)に関して現在の課題は。
答 次年度以降に向けて取り組むべきものとして、センターに配属された職員が母子保健と児童福祉、双方の経験と知識を習得できるよう人事異動も活用した仕組みを構築することであると考えている。



切れ目のない子ども支援を！

問 こども家庭庁が進める「こどもデータ連携ガイドライン」のような子どもに関わる情報を一元管理するシステム導入の検討状況を問う。

答 虐待・貧困・ヤングケアラー等、こどもの身の回りで発生する課題への早期発見・早期対応に有効と認識しており、他自治体の導入事例と活用方法等の情報収集に努めている。

寝屋川市のごみについて

問 ごみの出し方について「マナーアップ大作戦」としてより具体的に より効果が期待できる内容を周知する考えはあるか。
答 広報誌7月号の特集記事を「マナーアップ大作戦」とし、4つのマナー向上の1つとして、「ごみの捨て方マナー」を掲げている。

問 マナー向上のためには、多くの市民の参加が重要であり、市域を2分してごみの減量を競い合う取組を行い、毎月広報誌において、減量の状況を公表するとともに、誰でもできるごみの減量の取組の紹介や、不法投棄防止に向けた啓発など、ごみの捨て方マナーに関する記事のコーナーを設け、周知を図っていく。

問 ごみ総量削減への取組及び市民への具体的な周知方法は。
答 今年度は、「マナーアップ大作戦」として、市を挙げて6000トンのごみ減量に取り組むこととしており、民間事業者やごみ減量マイスターと連携し、市ホームページやクリーンカレンダー、もつとねやがわアプリなどあらゆる媒体を通じて推進していく。

部活動種目別拠点校について

問 部活動場所に運動系・文科系間

わずエアコン設置など環境改善をする考えはあるか。

答 部活動種目別拠点校の参加部員数や活動内容などを考慮し、体育館などの活動場所を調整しながら、環境改善に取り組んでいる。

災害対応について

問 市民大訓練実施後の参加者の意見集約等について、実施予定やスケジュールを問う。
答 本訓練に参加頂く地域協働協議会や消防団をはじめ、市職員等を対象に、「今そこにある危機」を意識することで危機感を高める訓練としての効果及び課題について整理・集約を行い、次年度以降の防災訓練に活かしていく。

市職員の働き方について

問 精神的要因による休職者の令和5年度の状況と現状の見解を伺う。
答 前年度と比較して10人減少の29人となっており、令和5年度当初の職員数1208人を母数とした割合は2.40%となり、0.76ポイント減少した。本市では、令和2年度からこころ・からだサポート事業を開始し、産業医、カウンセラー、人事室の保健師がチームとなり、ストレスを感じている職員の相談体制の充実及びハイリスク者等への予防的アプローチの実施に取り組んできたところであり、また、現在、精神的要因により休職となる状況の解消に向け、様々なアプローチから検討を行っており、働き方改革の観

点も交え、新たな取組について研究を行っている。

公立小学校・中学校に勤務する教職員の働き方について

問 市教育委員会から現場の管理職に對して、勤務時間の改ざんや操作の指示が絶対に無いと言い切れるか伺う。

答 市教育委員会からの勤務時間の改ざんや操作の指示は、一切ない。

共同親権について

問 共同養育計画の作成の重要性と啓発を行うべきであると考えますが、その必要性について見解を伺う。

答 育児の分担、子どもとの時間の

過ごし方、教育や医療の方針など、子どもの利益を最優先とした養育計画を両親が協力して策定することは離婚後も子どもが健全に成長していくためには重要と認識しており、効果的な啓発の手法等を検討していく。

問 本市独自のパッケージを構築し離婚に對する正しい知識と理解を深

公明党市会議員団

新たな視点で、市民の生命・人権・生活を守る取組みを推進！

村上 順一
岡 由美
坂口 安喜子
高見 雄介
武田 由利子
辻谷 恵一

更年期障害について

問 更年期障害に對する市の認識と、更年期症状・更年期障害で悩んでいる方々のために市として取り組んでいることを伺う。

答 女性の更年期障害は、閉経前後の女性ホルモンの変化により、日常生活に支障をきたすレベルの身体的・精神的症状が出現した状態であり、男性の更年期障害は、加齢に伴う男性ホルモンの減少により、女性の更年期障害と類似した症状を呈するが、病態が複雑で、まだ十分に解明されていないと認識している。本市の取組については、健康相談において対応している。

市役所での挨拶運動について

挨拶は青少年の健全育成や犯罪

防止、人と人との絆を深める。市役所から明るく元気な挨拶運動の励行を再度提案するが見解を伺う。

答 引き続き、その場で適切なふるまいとなる挨拶に努めるとともに、市民サービス改革の一環としても取組を進めていく。

献血理解について

問 市全体としての献血に對しての認識及び取組状況について伺う。

答 献血は病気やケガの患者の治療に不可欠であることから、今後も社会福祉協議会や日本赤十字社と連携し、市民の皆さんに御協力いただけるよう取り組んでいく。

ワーキングママ・パパ支援について

問 出勤時間の早い、働く保護者を支えるため、学校開門時間に関する

要望が届いているが、今後どのように対応するか見解を伺う。

答 学校の状況に応じて、教職員の出勤時間や退勤時間を調整するなど、少しでも子どもたちの登校時間に対応できるよう様々な手法を検討しているところである。



忙しくとも朝の登校は見守りたい

骨髄ドナー助成金について

問 ドナー助成金、ドナー登録者を雇用する事業者への休業補償等の実施を要望するが見解を伺う。

答 ドナーが骨髄等を提供しやすい環

め、子どもを軸とした離婚の仕方について周知啓発を徹底する必要がある。現実性も踏まえ見解を伺う。

答 周知啓発のタイミングは、離婚を考えた時に共同養育について意識してもらふ必要があることから、離婚届の用紙を入手する時期に周知することが効果的であると考えている。

境を整え、骨髄等の移植の推進を図ることができると考えられることから、支援の在り方について前向きに検討していく。

平和教育について

問 被爆80年に本市でVRを活用した原爆展や平和展を開催することについて見解を伺う。

答 VRを含めた映像活用について、平和首長会議や日本非核宣言自治体協議会と連携する中で、実施に向け検討していく。

災害時の備えについて

問 能登半島地震の教訓を踏まえ、今後想定される最大避難者数などを基に携帯トイレの必要数を調達しなくてはならないが、備蓄の現状と今後の方針について見解を伺う。

答 指定避難所となる小・中学校等に、南海トラフ巨大地震発生時における想定避難者数4万1千40人のおよそ1日分となる約20万個を備蓄している。今後の方針については、現在、大阪府域救援物資対策協議会において検討が進められている今後の備蓄方針に基づ

問 市内外から「訪れたくなる」スポーツ活動等の核となる公園機能等の創出について検討状況を伺う。

答 現在、公共施設の考え方に準じた公園としてのターミナル化の3分

都市公園のあり方

問 行政機構では、医療・福祉・介護分野で公共交通機関への補助等があるが、市全体として包括的な地域公共交通政策の在り方を伺う。

答 事業目的や内容、対象等が重複する事業等の整理・検証を進め、今後の超高齢社会に適応した、事業となるよう検討を進めている。

地方公共団体の公共交通政策

自由に民主党市会議員団 地に足を付けた市民目線での政策提 言（公共交通・都市公園・道路）

森本 雄一郎
金子 英生
北川 千尋
北川 健治

問 軟骨伝導イヤホンについて

答 軟骨伝導イヤホンを窓口に設置

き、府と市でそれぞれ1基ずつの洋式水洗トイレを備蓄することあわせて、市において3日間分の携帯トイレを確保することが明記される予定であることから、携帯トイレの使用を含めた様々な手法を検討し、災害時に確実に使用出来る安全かつ衛生的なトイレ環境の確保に努めていく。

することにより、難聴者やマスクの着用等による聞こえづらさで大きな声で個人情報が周囲に伝わってしまうというリスクも軽減される。窓口への導入を要望するが見解を問う。

答 窓口にお見えになった「聞こえ」に不安のある方への支援策として、取組事例があると認識しており、先進市での取組効果について注視するとともに、調査・研究していく。

問 小規模・多機能型「スポーツ広場」として整備すると聞くが、想定しているスポーツは何か。

総合センター跡地

類の整理による配置や機能分類を検討しており、その中で、さらなる機能の分析及び検討を行っていく。

問 本市の子どもたちの基礎体力は府平均よりも高い。子どもたちへのスポーツや運動の機会の提供について、市の見解を伺う。

答 スポーツ施設を新たに整備し、これまでにない多機能スポーツ広場として、市内にバランス良く配置するため、公園全体の在り方を検討していく中で検討していく。

民泊による地域への迷惑行為 予防策について

問 民泊施設周辺でのトラブルを未然に防ぐ対策として、宿泊者による迷惑行為防止の映像、ポスターでの啓発など対策を講じることを要望するが見解を問う。

答 外国語に対応した迷惑行為防止のポスターやチラシを作成して、民泊事業者に掲示及び配布の協力をあお



小規模・多機能型
「スポーツ広場+防災」

答 フットサルやグラウンドゴルフも含め、市民の皆さんが様々な使い方を工夫し、利用できるスポーツ広場を想定している。

不登校児童生徒の健康診断

問 不登校児童生徒の身体の健康は大変重要であるが、現在の取組は。

答 他の児童生徒と顔を合わせないよう時間をずらす、近隣校で受診できるよう配慮するなど、一人ひとりに寄り添った対応を行っている。

ぐなど、引き続き、民泊による地域への迷惑行為対策に取り組んでいく。

子どもに優しいまちづくり

問 子ども達が地域と連携しながらまちづくりや遊び場づくりの協議に参加し、意見や考えを表明できる場の整備について、市の見解を問う。

答 タウンミーティング等を通じて、子どもの意見・ニーズの把握に努めていく。

問 不登校児童生徒の健康診断について、本市の見解を伺う。

答 大変重要であると認識しており、登校支援教室での健診やオンラインを活用した診断等を検討している。

都市計画道路対馬江大利線事業

問 道路空間コンセプト、機能デザイン等、今までに様々な提案をしてきた。超高齢社会の進展、ユニバーサルデザインの観点から、バリアレス縁石を導入し、バス停のバリアフリー化に取り組むべきと考えが。

答 誰もが安全に乗り降りできるように、バリアレス縁石等の設置を検討していく。

市内道路交通の管理

問 成田山不動尊の初詣時には、非常に多くの人と車で溢れ、参拝車両の渋滞等が問題となっている。パークアンドライド方式による社会実験についての見解は。

答 渋滞解消の方策として、有効

と考えるが、打上川治水緑地駐車場は、都市公園法に基づく公園施設で、それ以外の目的による利用

については課題があるが、臨時的な使用の方法等、様々な観点から検討していく。

シン・ネヤガワ議員団

明日はわが身、

防災力の向上を！

板東 敬治
西尾 勝成
馬場 才
久野須賀子

災害対応・減災について

問 市民大訓練の参加職員数は。
答 災害対策本部、被害状況を認める職員、避難所開設・運営にあたる職員等、約200人が参加する予定。
問 市民大訓練の参加予定の団体は。
答 地域協働協議会、自治会、消防団、寝屋川消防署、寝屋川警察署である。



能登半島地震の倒壊家屋

問 本市の液状化のリスク分析は、

答 主に国道170号から淀川に至る西側のエリアと、市域中央を南北へ帯状に渡るエリアにおいて、液状化発生の可能性が高い状況である。
問 エリア毎の被害想定は。
答 噴水・噴砂の発生、戸建て住宅の沈下や傾斜、道路面の変形や、ライフライン施設の被害など様々な被害と影響が及ぶものと考えている。
問 密集地区内木造住宅への後付け感震ブレイカー配布の場合の費用は。
答 約1万1千棟あり、1番低額な3千円で試算すると約3300万円。
問 土砂災害の区域指定は、大阪府が行ったが、どのような現地調査が行われ、指定されたのか。
答 斜面の地形、傾斜度、崖の高さを現地測量し、傾斜度30度以上、かつ高さが5m以上の基準を設定し、指定されている。
問 土砂災害の危険度が高まる条件や、危険領域となる基準や目安は。
答 教育委員会が土壌中の水分量を数値化した土壌雨量指数を確認し、

学校へ共有を図り、学校は校内巡視と目視確認を行う。

問 倒壊した建物の解体等の公費解体は、寝屋川市が行うのか。
答 本市で行う。

問 公費解体の優先順位の判断基準は。
答 被災状況等を踏まえ、二次災害の恐れや、周辺の住宅や道路等に与える影響の大きさを考慮し、復旧に向けた対応を検討し順位付けをする。

寝屋川公園駅周辺の変化について

問 駅付近の道路や施設の変化による人口動態変化に係る数値指標は。
答 平成29年度に対し令和5年度は、624人、約9%の人口増。

問 駅周辺の保育施設の状況は。
答 充足率は102.9%だが、定員を超えた受入れが可能な弾力化の活用により受入れを行なっている。

問 駅周辺エリアの保育ニーズに応える政策は。
答 公立施設間での保育士配置を柔軟に行うとともに、民間保育所等と協力する中で保育士を確保し、受入体制の整備を行う。

子育て支援員について

問 就学前教育充実のため保育補助として子育て支援員を募集することについて今年度予算化されたが、支援員養成研修と認定についても本市で行うべきと考えるが、見解は。
答 養成研修実施に向け検討を進めている。

森林環境譲与税について

問 新たに徴収が始まり注目されているが、活用の計画は。
答 現在そのような計画はないが、制度の主旨に沿った活用に努める。

ねやがわ議会だよりのサブタイトル ことだまに決定しました!!

ことだまの由来は…?

「議会」は言葉で意思や意見を表現し、議論によって物事を決める場であり、議会だよりは議員一人ひとりが思い(魂)を込めて発信した「言葉の力」(内容)であるとの思いから「ことだま」としました。

全員協議会を開催

4月25日・6月11日に全員協議会を開催し、市政に関する案件についての説明を受けました。

案件名などの詳細は、QRコードから御参照ください。



日本共産党市会議員団

万博参加は、子ども・保護者の

判断にゆだねること

中林 和江
西田 昌美
松尾 信次

万博の無料招待事業について

問 安全が確保されていない、避難計画もない夢洲に、学校単位で子ども達を連れていくことには無理がある。参加は子ども・保護者の判断にゆだねることを求める。

答 移動手段や安全性等については、府教育委員会を始め、府や万博協会と責任を持って対応いただけるものと考えている。引き続き、府教育委員会を通じて情報収集に努める。

障害者、高齢者施策について

問 府内で、障害者入所施設待機者が1077人。8割が重度障害者である。入所施設の待機者解消へ具体的な取組を求める。

答 施設整備にかかる府及び他市の動向を注視しながら、障害者が地域で安心して暮らせる選択肢も含めて、適切な支援に努める。

問 判断能力が不十分な方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業の待機者解消のため予算の増額を。

答 実態に即し、大阪府で確保いた

問 地域包括支援センター12か所の



香里園駅西口のねやBUS

内6か所ですべて不足している。高齢者の介護予防や相談を受ける専門職員体制の確保を。

安心なまちづくりについて

問 香里園駅前に公衆トイレ設置を。

答 府及び京阪電鉄と協議を行い、早急に結論を出していきたい。

問 ねやBUSにステップ台と手すりの設置を。

答 ステップは、アンケートや今後の利用状況等も勘案し検討する。手すりは、7月末納車分に設置する。

農地の保全について

問 減少し続けている寝屋川市の農地を守る保全方針の策定を求める。

答 「地域計画」を令和6年度末に策定する予定である。

令和6年度市議会の構成

5月臨時会で新たな議会構成が決まりました。

議長 中川 健

副議長 高見 雄介

監査委員 森本雄一郎

総務都市創造常任委員会(8人)

岡 由美 ○古田 尚央

川口 肇人 中川 健

村上 順一 北川 健治

馬場 才 松尾 信次

健康福祉常任委員会(8人)

福田 篤志 ○金子 英生

瀬戸 健太 武田由利子

辻谷 恵一 北川 千尋

久野 須賀子 中林 和江

文教生活常任委員会(8人)

板東 敬治 ○坂口安喜子

奥 大輔 森越 清楓

高見 雄介 森本雄一郎

西尾 勝成 西田 昌美

予算決算常任委員会(24人・全議員)

高見 雄介 ○村上 順一

◎...委員長 ○...副委員長

議会日程

16日	10日	8日	5日	4日	3日	2日	1日	7月	28日	25日	24日	21日	20日	19日	13日	11日	10日	6月	17日	16日	15日	9日	5月	25日	24日	4月
議会広報委員会	議会運営委員会／本会議(第5日)	総務都市創造常任委員会協議会	文教生活常任委員会協議会／幹事長会	健康福祉常任委員会協議会	本会議(第4日)	本会議(第3日)	本会議(第2日)	本会議	予算決算常任委員会全体会	議会運営委員会	総務都市創造常任委員会(※)	文教生活常任委員会(※)	健康福祉常任委員会(※)	幹事長会	本会議(第1日)／予算決算常任委員会健康福祉分科会／予算決算常任委員会全体会／幹事長会	議会運営委員会／本会議(5月臨時会)	幹事長会	幹事長会	議会運営委員会／本会議(5月臨時会)	幹事長会	幹事長会	本会議(5月臨時会)／予算決算常任委員会健康福祉分科会／予算決算常任委員会全体会／幹事長会／議会運営委員会	議会運営委員会	全員協議会	幹事長会	幹事長会



6 月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
報告第 4～8 号	令和 5 年度寝屋川市一般会計継続費繰越しの報告（他 4 件）	報告終結
議案第 37 号	寝屋川市税条例の一部改正	可 決
議案第 38 号	寝屋川市立寝屋川市駅前図書館条例の廃止	可 決
議案第 39 号	令和 6 年度寝屋川市一般会計補正予算（第 3 号）	可 決
議案第 40 号	令和 6 年度寝屋川市一般会計補正予算（第 4 号）	可 決
議案第 41 号	令和 6 年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	可 決
議案第 42 号	令和 6 年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第 1 号）	可 決
議案第 43 号	令和 6 年度寝屋川市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	可 決
議案第 44 号	工事請負契約の変更	可 決
議案第 45 号	教育委員会委員の任命	同 意
議案第 46 号	財産の取得（追認）	可 決
議員提案第 3 号	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	可 決
議員提案第 4 号	聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書	可 決
議員提案第 5 号	学校給食費の無償化を求める意見書	可 決
議員提案第 6 号	議案第 40 号 令和 6 年度寝屋川市一般会計補正予算（第 4 号）に対する附帯決議	否 決

予定

9 月定例会の案内

※8月22日に議会運営委員会が開催されます。

本会議・委員会は午前10時を予定しています。

議事の都合で変更される場合があります。

市議会を 傍聴しませんか？

市議会が開かれる本会議・委員会の様子はどなたでも傍聴することができます。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27	28 本会議・ 予算決算	29	30	31
9/1	2 健福	3 文教	4 総務	5 予算決算・ 議運	6	7
8	9	10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問)	14
15	16	17	18 健福協議会	19 文教協議会	20 総務協議会	21
22	23	24 議運・ 本会議	25	26	27	28

健福：健康福祉常任委員会・分科会 文教：文教生活常任委員会・分科会
総務：総務都市創造常任委員会・分科会 予算決算：予算決算常任委員会全体会
議運：議会運営委員会 協議会：常任委員会協議会